

「西田先生は還暦を迎えられたのことでありますが還暦を迎えて実感することと今後の目標はありますか？」

平成 30 年 9 月 26 日

●三毛猫さんからの質問

西田先生はこのたび還暦を迎えられたのことでありますが還暦を迎えて実感することと今後の目標はありますか？還暦と言うと一昔前は高齢者の仲間入りと言う感覚でしたがまだまだこのご時世心身共に油の乗った年代です！無理をせず楽をせず日本の為に邁進していただきたいです！

●西田昌司の答え

先日、中学校の同窓会がありましたが、同級生の印象は様々でした。歳の割には老けて見える人もいれば、逆に 40 代と言ってもおかしくないくらいに若く見える人もいます。心の持ち方や生活の仕方によって随分と差がつくものだなと感じました。

30 歳や 40 歳になった時に特別な感慨はありませんでしたが、50 歳になった時は「もう俺も 50 代か」と思ったものです。一昔前は 55 歳で定年でしたし、今の私よりも 5 歳も若くして定年を迎えていました。その後、定年が延長されて 60 歳となり、私の同級生でも 60 歳になって定年を迎える人が出てきましたが、今や 65 歳定年も普通となってきています。いずれにしてもサラリーマンや公務員にとっては 60 代とは引退する年代ではありますが、しかし、政治家にとっての 60 歳はまだまだ漢<sup>はな</sup>垂れ小僧といった歳です。

私は「戦後レジームからの脱却」を目標に掲げて政治家をやっていますが、歴史観を取り戻すという途方もなく大きな目標が簡単に達成できるはずありませんし、これからやらなければならないことが山のようにあります。こ

れから長丁場ですから、肉体と精神をともに鍛えながら事に当たらなければなりませんし、よぼよぼの爺さんになってしまっは国民に声も届かないでしょう。私は 60 歳になった今も気力・体力ともに衰えを感じていませんし、そもそも定年のイメージが最初からありません。

目標が大きすぎるだけに絶望しそうにもなりますが、逆に困難な道だからこそ奮起しなければとの思いが込み上げてくるのです。還暦を迎えたからといって休む暇もありません。

反訳：ウッキーさん

Copyright：週刊西田 <http://www.shukannishida.jp>